



2021年11月10日  
ブティックス株式会社  
(コード 9272：マザーズ)

東京都港区三田一丁目4番28号  
代表取締役社長 新村 祐三

問合せ先：常務取締役管理本部管掌 速水 健史  
03 (6303) 9431

<マザーズ> 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○ 開催状況

開催日時 2021年11月10日(水) 11:00~12:00

開催方法 対面による実開催

開催場所 兜町平和ビル2階

説明会資料名 2022年3月期 第2四半期決算説明資料

【添付資料】

投資説明会において使用した資料

※この書面(添付資料含む。)は、有価証券上場規程施行規則第427条に基づき、公衆縦覧に供されます。

(証券コード：9272)  
2021年11月9日

 **ブティックス株式会社**  
**Boutiques, Inc.**

**2022年3月期**  
**第2四半期 決算説明資料**



01	2022年3月期 第2四半期決算概要	P.2
02	事業別の状況	P.9
03	今後の見通し	P. 21
	参考資料	P. 26

# 2022年3月期 第2四半期 決算概要



## 商談型 展示会事業

- 7月横浜展、9月仙台展・福岡展を、万全のコロナ感染症予防対策を講じ、予定通り開催リアル展の**売上高131百万円**
- 上半期の大半が緊急事態宣言下であったため、出展自粛の発生に加え、新規営業が大幅に制約され、契約の進捗に遅れ
- オンライン展も契約の進捗に遅れが生じ**売上高60百万円**
- 来年度開催に向けて、営業活動を開始（9月よりオンライン説明会を開催）

## ハイブリッド 展示会事業

## M&A 仲介事業

- 前年度からの仕組化が奏功し、中途採用のコンサルタントが想定より早く戦力化した結果、成約組数・金額共に大幅増加**売上高675百万円・60組（前年:216百万円・36組）**
- 上半期で、前年度通期の売上高を上回る

**M&A事業は好調だが、展示会事業は契約の進捗に遅れ**

# 第2四半期（3カ月）業績ハイライト



## ◆ M&A事業が順調に推移し、大幅な増収増益に

	2022年3月期 (2Q・3カ月)	2021年3月期 (2Q・3カ月)	前年同期比
売上高	516百万円	268百万円	+92.3%
営業利益	164百万円	49百万円	+231.8%
営業利益率	31.9%	18.5%	—
経常利益	165百万円	60百万円	+175.4%
経常利益率	32.1%	22.4%	—
当期純利益	105百万円	42百万円	+149.6%
当期純利益率	20.4%	15.7%	—

## 第2四半期（累計）業績ハイライト



◆ M&A事業が順調に推移し、上場以来初の上半期純利益を計上

	2022年3月期 (2Q累計)	2021年3月期 (2Q累計)	前年同期比
売上高	871百万円	308百万円	+182.1%
営業利益	237百万円	△99百万円	+336百万円
営業利益率	27.3%	—	—
経常利益	238百万円	△88百万円	+327百万円
経常利益率	27.4%	—	—
当期純利益	146百万円	△60百万円	+207百万円
当期純利益率	16.8%	—	—

# 第2四半期（3カ月）セグメント業績ハイライト



## ◆ M&Aは成約組数・金額共に大幅増、展示会はリアル展の開催により増収

※2022年3月期より、社内での損益管理方法を変更したことに伴い、2021年3月期も、遡って全社費用の配賦方法を変更しております。

		2022年3月期 (2Q・3カ月)	2021年3月期 (2Q・3カ月)	前年同期比
商談型 展示会事業	売上高	130百万円	69百万円	+86.9%
	セグメント利益	△15百万円	△30百万円	+14百万円
	セグメント利益率	—	—	—
ハイブリッド 展示会事業	売上高	—百万円	—	—
	セグメント利益	△13百万円	—	—
	セグメント利益率	—	—	—
M&A仲介 事業	売上高	384百万円	195百万円	+96.2%
	セグメント利益	277百万円	138百万円	+100.3%
	セグメント利益率	72.2%	70.7%	—
その他	売上高	1百万円	2百万円	△41.3%
	セグメント利益	1百万円	2百万円	△29.4%
	セグメント利益率	99.9%	83.1%	—



# 第2四半期（累計） セグメント業績ハイライト



## ◆ M&Aは成約組数・金額共に大幅増、展示会はリアル展の開催により増収

※2022年3月期より、社内での損益管理方法を変更したことに伴い、2021年3月期も、遡って全社費用の配賦方法を変更しております。

		2022年3月期 (2Q累計)	2021年3月期 (2Q累計)	前年同期比
商談型 展示会事業	売上高	192百万円	80百万円	+138.3%
	セグメント利益	△49百万円	△91百万円	+42百万円
	セグメント利益率	—	—	—
ハイブリッド 展示会事業	売上高	—百万円	—	—
	セグメント利益	△24百万円	—	—
	セグメント利益率	—	—	—
M&A仲介 事業	売上高	675百万円	216百万円	+212.3%
	セグメント利益	474百万円	103百万円	+359.4%
	セグメント利益率	70.2%	47.8%	—
その他	売上高	3百万円	11百万円	△72.0%
	セグメント利益	3百万円	5百万円	△36.6%
	セグメント利益率	98.2%	43.3%	—

## 第2四半期 財政状態ハイライト



	2022年3月期 9月末	2021年3月期	前期末比
流動資産合計	1,577百万円	1,488百万円	+6.0%
現金及び預金	1,500百万円	1,448百万円	+3.6%
固定資産合計	261百万円	185百万円	+40.6%
流動負債合計	614百万円	624百万円	△1.5%
前受金	257百万円	82百万円	+209.9%
固定負債合計	100百万円	104百万円	△3.6%
純資産合計	1,122百万円	945百万円	+18.7%

# 事業別の状況

# 【商談型展示会事業】展示会開催スケジュール



## ◆ 全国 7 エリアで開催

四半期	開催月	展示会名	開催
第 1 四半期	5月	CareTEX札幌 (初開催)	開催済
第 2 四半期	7月	CareTEX One横浜	開催済
	9月	CareTEX仙台	開催済
		CareTEX福岡	
第 3 四半期	10月	CareTEX大阪	開催済
		健康施術産業展 大阪 (初開催)	開催済
第 4 四半期	2月	CareTEX名古屋	開催予定
	3月	東京ケアウィーク	開催予定
		健康施術産業展 東京	開催予定

政府や自治体の要請及び各会場のガイドラインに従い、万全の感染予防対策を講じた上で開催。

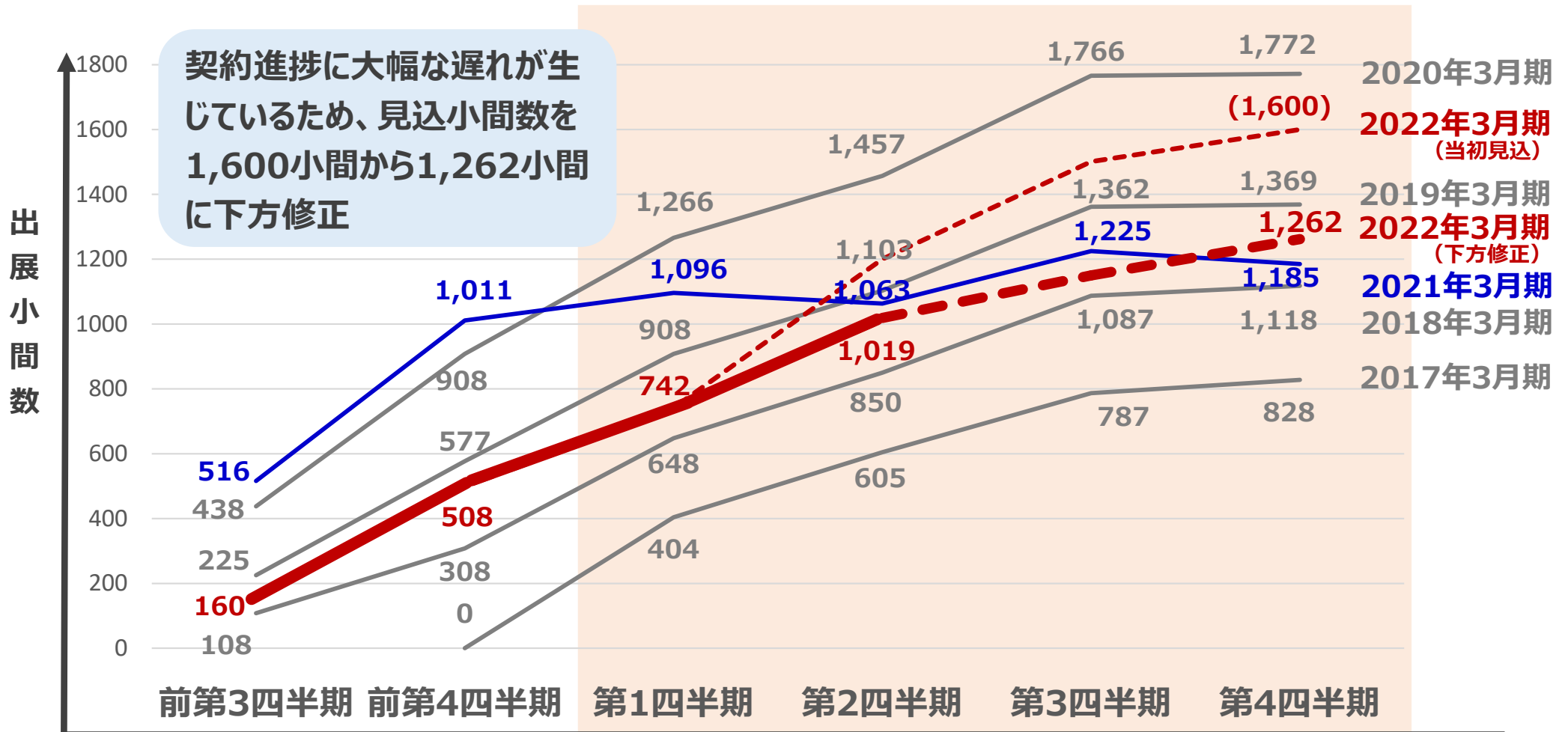
コロナの影響が徐々に快方へと向かい、営業活動が正常化すると予想していたが、上半期の大半が緊急事態宣言下であったため、出展自粛の発生に加え、新規営業が大幅に制約され、契約の進捗に遅れ

今後、コロナの影響が更に悪化した場合、業績に影響を与える恐れ。

# 【商談型展示会事業】契約進捗状況（先行指標）



## ◆ 出展小間数の契約進捗状況（累計）



開催期 = 売上計上期

- 注) 1. 出展小間数とは、出展社に貸し出すために仕切られたスペースの単位  
 2. 上記の契約進捗状況は各会計期間に開催 (= 売上計上) した展示会の契約獲得時期を累計で表示



# 【商談型展示会事業】セグメント業績

- ◆リアル展は7月に横浜展、9月に仙台展・福岡展を開催したことで増収
- ◆オンライン展について、当期は6カ月間フルに業績に寄与し増収

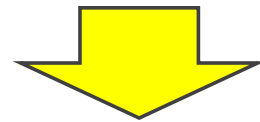
		2022年3月期 (2Q累計)	2021年3月期 (2Q累計)	前年同期比
商談型展示会	売上高	131百万円	45百万円	+188.5%
オンライン展示会	売上高	60百万円	35百万円	+73.2%
商談型展示会 事業（合計）	売上高	192百万円	80百万円	+138.3%
	セグメント利益	△49百万円	△91百万円	+42百万円
	セグメント利益率	—	—	—



# 【ハイブリッド展示会事業】事業概要

## ◆ハイブリッド展示会 ディーエクスポ DXPO とは

	メリット	デメリット
オンライン展示会	<p><b>【見込客獲得の量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・365日24時間マッチングが可能</li> <li>・全国どこでもマッチングが可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接会って商談が出来ない</li> <li>・商品の実物が見れない</li> </ul>
リアル展示会	<p><b>【商談の質】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・決裁権限者同士が直接会って商談</li> <li>・商品の実物が見られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年のうち会期が2～3日に限定</li> <li>・開催地が近くにないと行けない</li> </ul>



「オンライン展示会」「リアル展示会」双方の強みを活かした

ハイブリッド展示会 ディーエクスポ DXPO を開始

※DXPOとは、「DX+EXPO」の造語で、「展示会をDXする」という意味を込めて当社が命名した、ハイブリッド展示会のサービス名です。



# 【ハイブリッド展示会事業】事業概要

## ◆ハイブリッド展示会 デーエクスポ DXPO とは

- オンライン展の開設期間中（365日24時間）にリアル展を年2回開催し、会期前1か月＋会期後2か月はオンライン展でも集中的にマッチング
- **商談の量と質を高めつつ、かつ年間を通じて継続的にマッチング**
- オンライン展の通年開催により、天変地異等の不可抗力によるリアル展の**開催延期・中止の場合でも、柔軟にマッチングが可能**

(2022年)

(2023年)

(開催例)





# 【ハイブリッド展示会事業】進出する新分野



## ◆ 第1弾として「企業の業務改革・DX推進」に関する新規展開催

開催概要 主催：ブティックス株式会社	開催発表説明会を9月中旬オンラインにて開催
<p data-bbox="293 437 1061 587"><b>経営・経理・人事・総務 DX推進展</b> <b>バックオフィス DXPO</b></p> <p data-bbox="293 603 1061 635">— オンライン(365日) &amp; 展示商談会(東京・大阪) —</p> <p data-bbox="264 667 1104 866">【オンライン】2022年6月～2023年5月（以降も継続開催） 【東京展】2022年8月23日(火)・24日(水) 東京ビッグサイト 【大阪展】2023年3月14日(火)・15日(水) インテックス大阪 《公式ホームページ ⇒ <a href="https://box.dxpo.jp">https://box.dxpo.jp</a>》</p>	<p data-bbox="1167 437 1935 587"><b>マーケティング・営業・宣伝・店舗 DX推進展</b> <b>フロントオフィス DXPO</b></p> <p data-bbox="1167 603 1935 635">— オンライン(365日) &amp; 展示商談会(東京・大阪) —</p> <p data-bbox="1137 667 1977 866">【オンライン】2022年6月～2023年5月（以降も継続開催） 【東京展】2022年8月25日(木)・26日(金) 東京ビッグサイト 【大阪展】2023年3月16日(木)・17日(金) インテックス大阪 《公式ホームページ ⇒ <a href="https://fox.dxpo.jp">https://fox.dxpo.jp</a>》</p>

## ◆ 出展料3展合計（東京・大阪・オンライン、ブース装飾費込）で、破格の60万円より

- 地球環境への配慮と経済性の観点から、「出展ブースを複数社でシェアする」という、**新発想の“シェアブース”方式を採用**
- 2つの展示会を連続開催し、ブース装飾・受付・看板・備品等を居抜きで再利用、残材・廃棄物を最小限にし、**施工・運営コストを大幅削減**
- 出展しやすい価格設定で、**ベンチャー・スタートアップ企業の出展も促進**



# 【ハイブリッド展示会事業】数値目標

## ◆売上高について

- 22/3期は、**準備期間（先行投資）**
- 23/3期以降、**ハイブリッド展を新規開催し、順次分野を拡大**
- 9月より、説明会を実施、営業活動を本格化

## ◆数値目標

(単位：百万円)			準備期間	ハイブリッド展を開催し分野拡大		
	2020/3期 実績	2021/3期 実績	2022/3期 業績予想	2023/3期 計画	2024/3期 計画	2025/3期 計画
売上高			14 ⇒ 0	416	764	1,552
前年度比率			—	—	183%	203%
分野（累計）			—	1~2	3~4	4~6

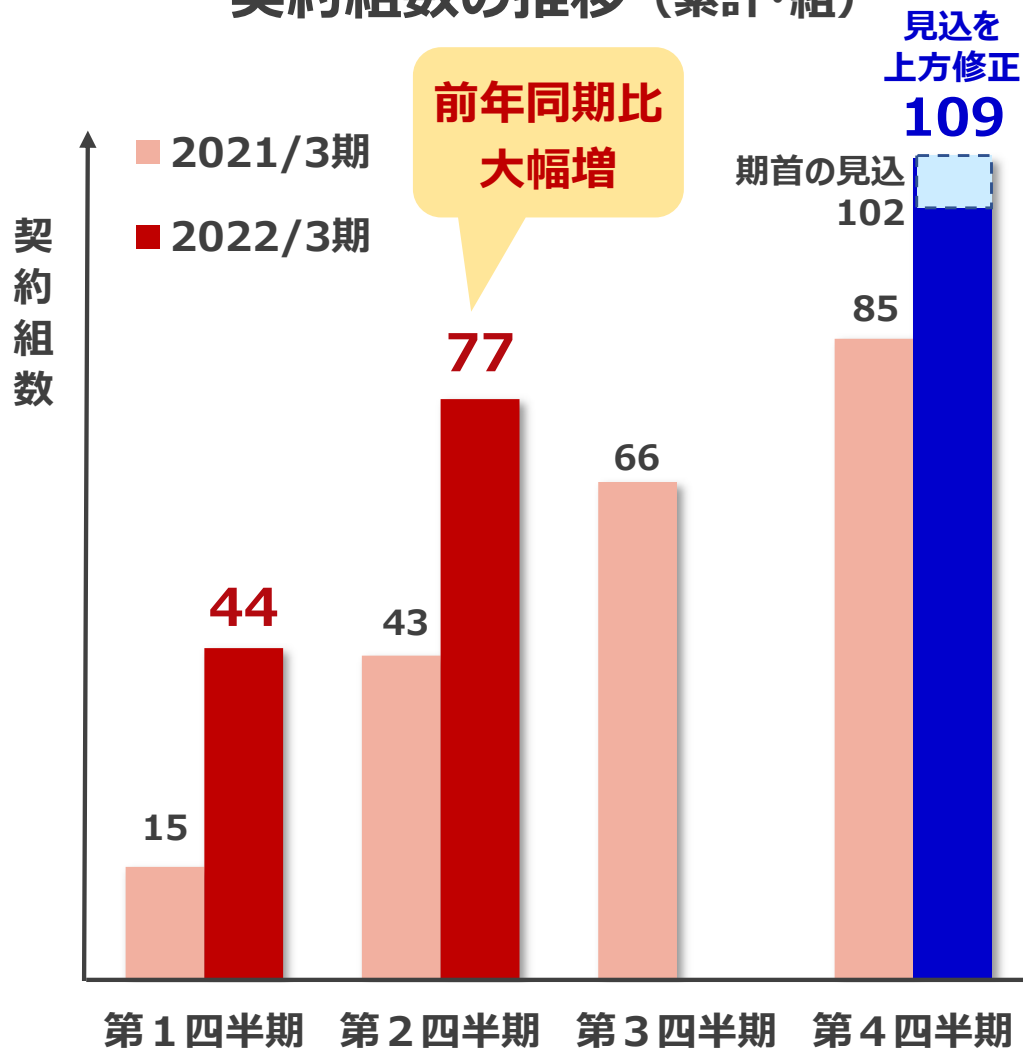
リアル展の会期を、当初は2022年5月で計画し、先行して3月に開設するオンライン展の売上を今期に見込んでいたが、リアル展の会期を同8月に変更したため、今期の売上は発生しない見込み

# 【M&A仲介事業】契約進捗状況（先行指標）



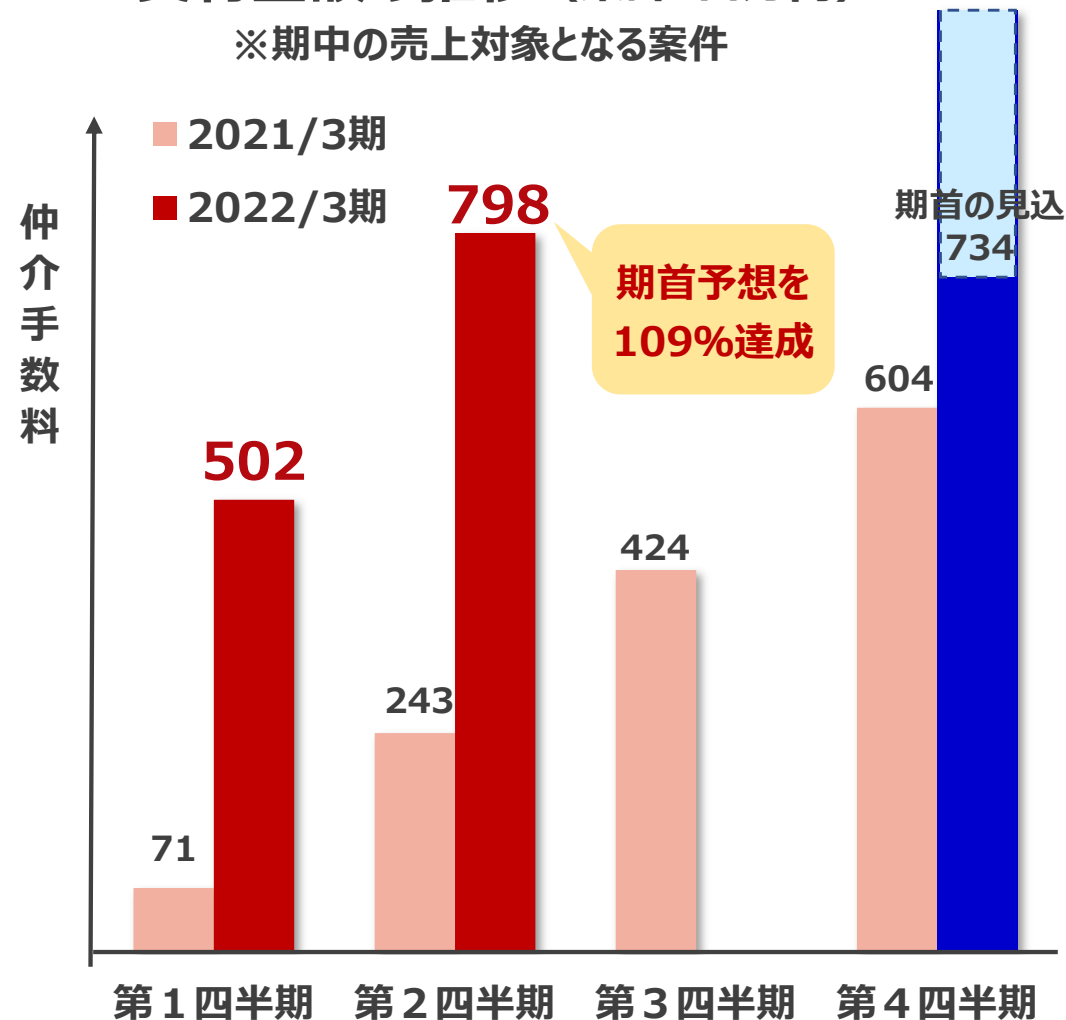
## ◆ 契約金額で、期首業績予想（年間売上見込）を達成

### 契約組数の推移（累計・組）



注) 今期中に譲渡が実行される案件で、当該四半期において譲渡契約を締結した案件数

### 契約金額の推移（累計・百万円）



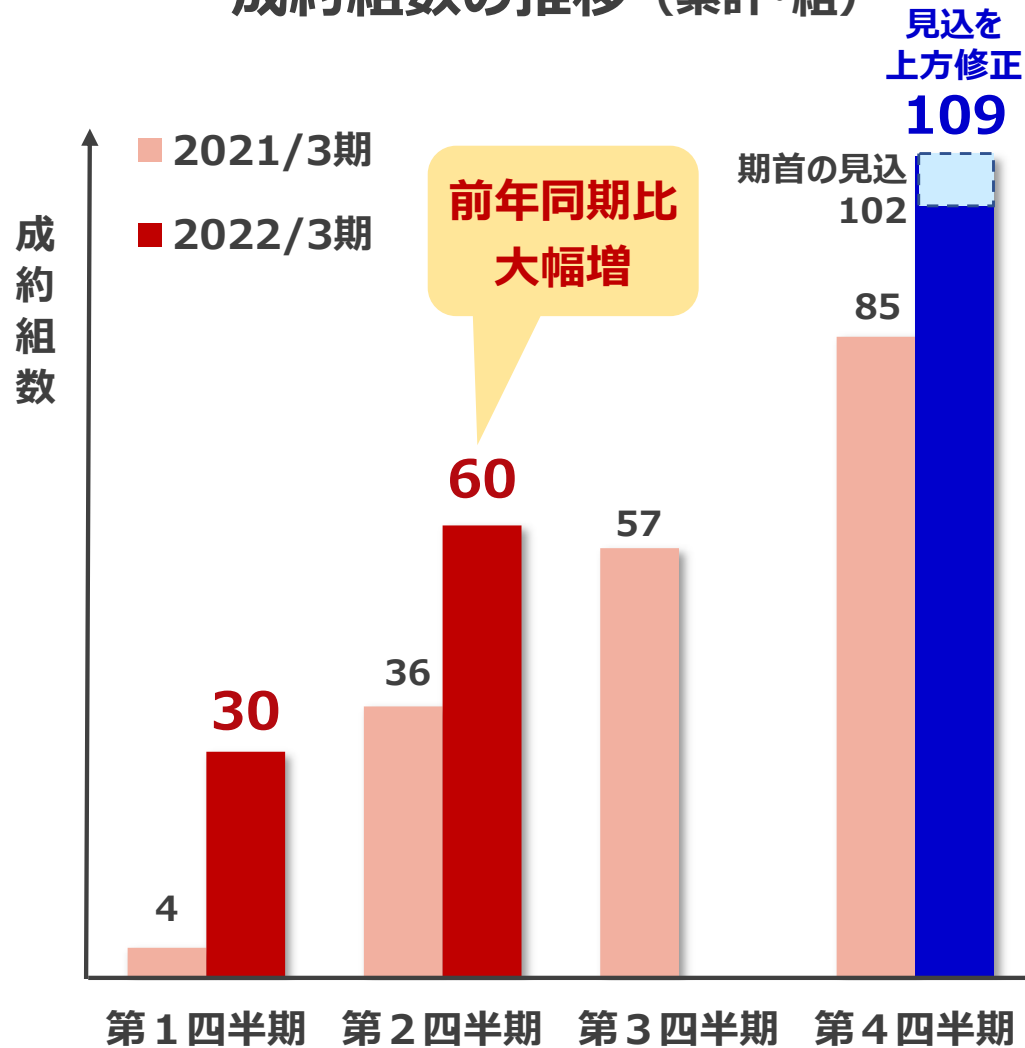
注) 今期中に譲渡が実行される案件で、当該四半期において譲渡契約を締結した案件の手数料  
 ※上記の金額には、当該四半期において、まだ譲渡が実行されていない譲渡契約済の案件の手数料が含まれる。当社会計基準では、譲渡実行をもって売上高として計上するため、上記の金額と売上高とは異なる。

# 【M&A仲介事業】売上高進捗状況

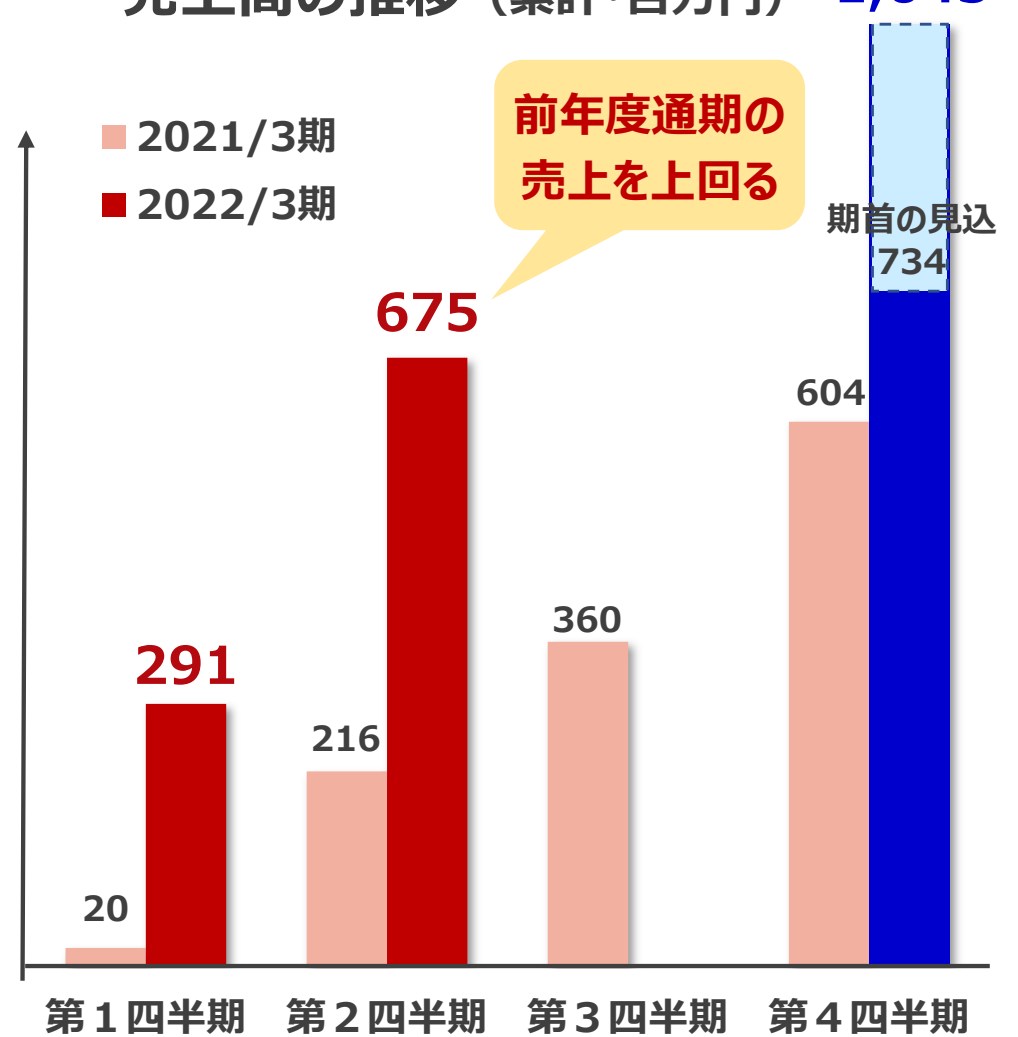


## ◆ 成約組数・売上高共に、前年同期比大幅増

### 成約組数の推移 (累計・組)



### 売上高の推移 (累計・百万円)

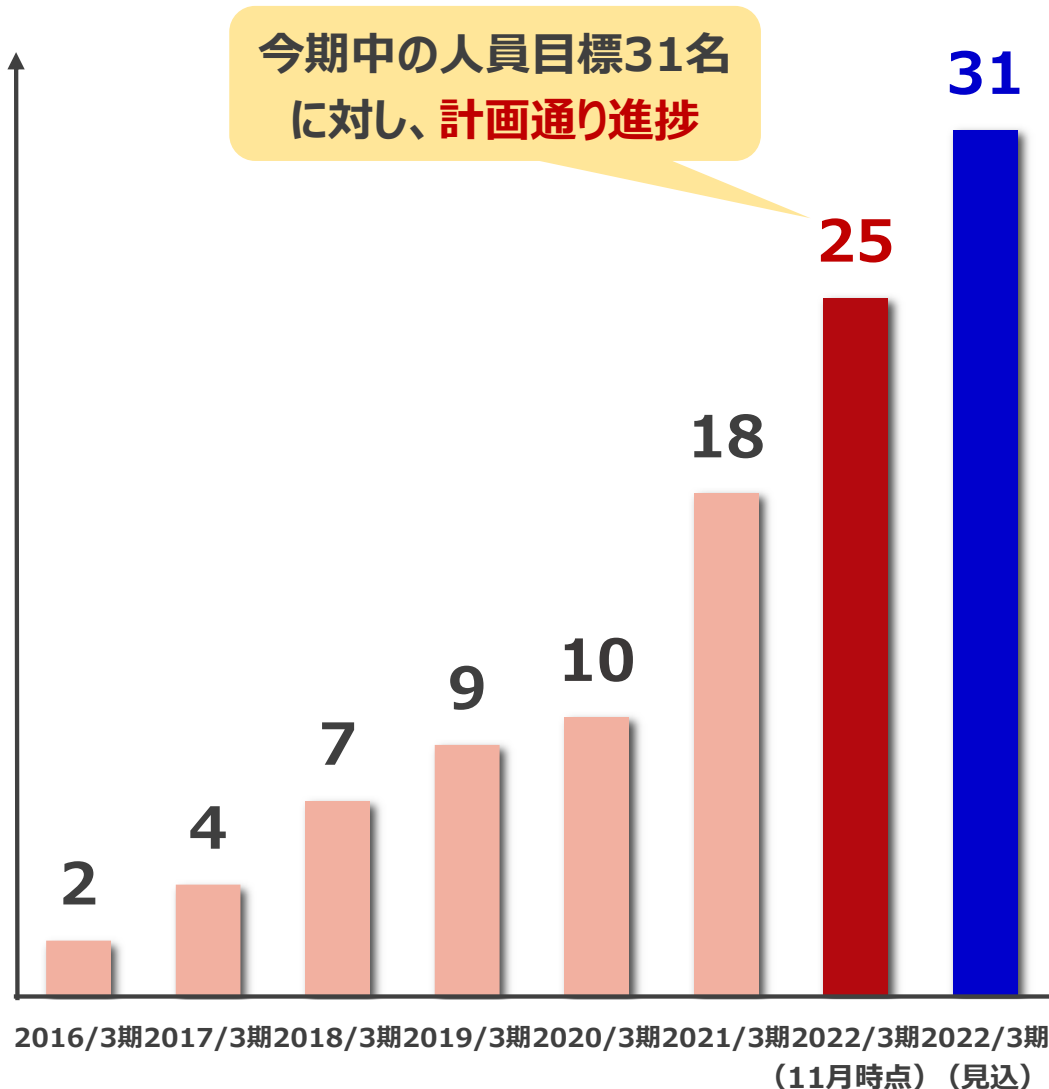




# 【M&A仲介事業】コンサルタント人員数

## ◆コンサルタント人員数は、順調に推移

コンサルタント人員数の推移（名）



新規採用したコンサルタントが売上に  
寄与するまでの想定期間：約8ヵ月

### 入社～戦力化までのモデル期間

- 入社～2ヵ月後：教育研修期間
- 入社2ヵ月後：最初の案件担当  
(案件成約まで6ヵ月を想定)
- 入社8ヵ月後：初の案件成約  
以降、本格的に戦力化し、売上に寄与

上記より、採用したコンサルタントの売上への寄与は、入社8ヵ月後より始まり、1人当たりの想定売上を計上するのは1年8ヵ月後。よって、21/3期下半期以降に採用したコンサルタントの売上への寄与は、22/3期においては一部に留まり、23/3期に本格化する見込み。

# 【M&A仲介事業】セグメント業績



◆ 前年度からの仕組化が奏功し、成約組数・金額共に大幅増

		2022年3月期 (2Q累計)	2021年3月期 (2Q累計)	前年同期比
M & A 仲介 事業	売上高	675百万円	216百万円	+212.3%
	セグメント利益	474百万円	103百万円	+359.4%
	セグメント利益率	70.2%	47.8%	—

# 今後の見通し

# 2022年3月期 業績予想（修正あり）



- ◆ 22/3期は、**前年度比34%増収**を見込むが、先行投資等により減益見通し
- ◆ **21/3期～22/3期の先行投資**により、**23/3期以降大幅な増収増益見込む**

	2022年3月期 業績予想	2021年3月期 実績	前年度比
売上高	1,716百万円	1,277百万円	+34.3%
営業利益① ※先行投資等 控除前	411百万円	—	—
営業利益率	24.0%		—
先行投資	△152百万円	23/3期以降の業績拡大のため、先行投資を実施 (人件費・採用費・販促費等)	
株式報酬費用	△58百万円	新株予約権の発行に伴う会計上の費用計上額	
営業利益② ※先行投資等 控除後	201百万円	281百万円	△28.4%
営業利益率	11.7%	22.0%	—



# 2022年3月期以降 業績予想と計画（修正あり）



- ◆ **M&A事業が好調**で、展示会事業の減収をカバーしても、更に増益含み。
- ◆ 計画していた人員増加、及びオフィス内の三密回避のため、来年4月に計画していた**オフィス増床を今年10月に前倒して実施**。家賃負担等が増加。
- ◆ 上記を織り込み、全社の営業利益は、**5/11予想と比べ81%増益見込み**

（23/3期以降の計画の詳細は、2021年5月11日公表の中期経営計画をご覧ください）

（単位：百万円）	2021/3期 実績	2022/3期 5/11予想	2022/3期 11/9予想	2023/3期 計画	2024/3期 計画
売上高	1,277	1,633	1,716	2,534	3,522
営業利益	281	111	201	492	946
営業利益率	22.0%	6.8%	11.7%	19.4%	26.9%
経常利益	292	111	201	492	946
経常利益率	22.9%	6.8%	11.7%	19.4%	26.9%
当期純利益	198	71	128	315	605
当期純利益率	15.5%	4.4%	7.5%	12.4%	17.2%

# 2022年3月期以降 セグメント別業績予想と計画（修正あり）



◆ M&A事業を上方修正、商談型展示会事業を下方修正、オフィス増床に伴う家賃増も加味し、全社の営業利益は、**5/11予想と比べ81%増益見込み**

（単位：百万円）

			2021/3期 実績	2022/3期 5/11予想	2022/3期 11/9予想	2023/3期 計画	2024/3期 計画
オンライン含む 商談型展示会	介護 医療 健康等 既存分野	売上高	656	885	670	1,012	1,173
		セグメント利益	※178	200	94	275	384
		セグメント利益率	※27.1%	22.6%	14.1%	27.2%	32.7%
展示会 ハイブリッド	新分野	売上高	-	14	0	416	764
		セグメント利益	-	△61	△68	122	246
		セグメント利益率	-	-	-	29.4%	32.3%
M&A 仲介事業		売上高	604	734	1,045	1,105	1,584
		セグメント利益	※347	296	543	472	710
		セグメント利益率	※57.4%	40.3%	52.0%	42.7%	44.8%

※2022年3月期より、社内での損益管理方法を変更したことに伴い、2021年3月期も、遡って全社費用の配賦方法を変更しております。  
 ※2023年3月期以降の計画の詳細は、2021年5月11日公表の中期経営計画をご覧ください。



## ◆商談型展示会事業

- ワクチン接種の開始等により、コロナの影響が徐々に快方へと向かい、万一、緊急事態宣言が発出された場合でも、展示会の開催が出来ることを前提に計画
- コロナが前年度以上に悪化した場合や、政府・自治体等の要請により、展示会の開催が出来なくなった場合、目標が未達となる可能性あり

## ◆M&A仲介事業

- ワクチン接種の開始等により、コロナの影響が徐々に快方へと向かい、万一、緊急事態宣言が発出された場合でも、訪問・面談等が出来ることを前提に計画
- コロナが前年度以上に悪化した場合や、政府・自治体等の要請により、訪問・面談等が出来なくなった場合、目標が未達となる可能性あり

# 參考資料



## ◆ 会社概要

会社名	ブティックス株式会社		
本社所在地	東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル11階		
設立年月	2006年11月		
資本金	261百万円 ※2021年9月30日時点		
役員	代表取締役社長	新村	祐三
	常務取締役	速水	健史
	取締役	武田	学
	社外取締役	吉崎	浩一郎
	社外取締役	守屋	実
	社外取締役	寺西	章悟
事業内容	業界に特化したマッチング・プラットフォーム事業		
	1. 商談型展示会事業		
	2. ハイブリッド展示会事業		
	3. M&A仲介事業		
従業員数	101人（アルバイト・派遣含む） ※2021年9月30日時点		

## ◆ 沿革

2006年11月	当社設立
2007年6月	介護用品のeコマース事業を開始
2015年3月	商談型展示会事業を開始 東京で「CareTEX」(介護用品・介護施設産業展)の定期開催を開始
2015年4月	M&A仲介事業を開始 介護事業者のM&Aに特化した「介護M&A支援センター」開設
2016年12月	大阪で「CareTEX関西」の定期開催を開始
2017年5月	医療施設のM&Aに特化した「医療M&A支援センター」開設
2017年10月	初の業種特化型展示商談会「CareTEX One」を横浜で開始 以降、名古屋(※1)、大宮、仙台(※1)、広島で開催 (※1)名古屋は2019年より、仙台は2020年より総合展CareTEXに変更
2018年3月	東京ケアウィーク（「CareTEX」「健康長寿産業展」「次世代介護テクノロジー展」 「超高齢社会のまちづくり展」の4展示会で構成） の定期開催を開始
2018年4月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
2018年7月	福岡で「CareTEX福岡」の定期開催を開始
2018年11月	中国杭州市に合弁会社「杭州方布健康科技有限公司」(※2)を設立 (※2)同社とは2020年8月31日に合弁契約を解消
2020年2月	東京で「在宅医療総合展」「健康施術産業展（からだケアEXPO）」の定期開催を開始
2020年3月	eコマース事業を譲渡
2020年7月	商談型オンライン展示会「CareTEX365オンライン」を開始
2020年12月	障害福祉事業者のM&Aに特化した「障害福祉M&A支援センター」を開設
2021年3月	商談型オンライン展示会「からだケアEXPO365オンライン」を開始
2021年9月	M & A 支援機関登録制度に登録



## 代表取締役社長 新村 祐三

1990年 リードエグジビジョンジャパン入社。エレクトロニクス、半導体、液晶、IT、眼鏡、出版、宝飾、文具等の各分野で展示会の総責任者を歴任。  
2004年 同社取締役就任。  
2006年 当社設立、代表取締役社長就任。  
早稲田大学卒。



## 常務取締役 速水 健史

2001年 日本興業銀行入行。その後、投資会社、事業会社にてM&A業務、経営管理業務に従事。  
2007年 アイピーエスフーズ代表取締役就任。  
2011年 当社入社。  
2015年 当社常務取締役就任。  
京都大学卒。公認会計士試験合格。



## 取締役 武田 学

1994年 リードエグジビジョンジャパン入社。  
2011年 サクラインターナショナル入社。  
2012年 同社取締役就任。  
2018年 当社入社。2019年当社執行役員就任。  
2020年 当社取締役就任。  
明治学院大学卒。



## 社外取締役 吉崎 浩一郎

1990年 三菱信託銀行入行。その後、シュローダーベンチャーズ、MKSパートナーズ、カーライル等を経て、  
2009年 グロス・イニシアティブ設立。  
2015年 クールジャパン機構 最高投資責任者就任。  
2016年 当社社外取締役就任。  
青山学院大学卒。



## 社外取締役 守屋 実

1992年 ミスミ入社。以降、新規事業の立上げ業務に従事。2002年エムアウトを設立し、取締役就任。  
2010年 守屋実事務所を設立し、代表取締役就任。  
2016年 当社社外取締役就任。  
明治学院大学卒。



## 社外取締役 寺西 章悟

2009年 長島・大野・常松法律事務所入所。  
2012年 てらにし法律事務所開設。  
2014年 田島・寺西法律事務所パートナー弁護士。  
2016年 当社監査役に就任。  
2021年 当社社外取締役に就任。  
東京大学大学院卒。



## ◆ 3つの事業を注力事業として育成

### 商談型展示会事業

- 商談型展示会「CareTEX」を開催し、介護用品メーカー・卸等の各種サプライヤーと、介護事業者をマッチング
- 全国7エリアでのリアル展の開催に加え、2020年度よりオンライン展も開設



### ハイブリッド展示会事業

- オンライン展とリアル展、双方のメリットを最大化した、新発想の「ハイブリッド展示会」DXPOを開催
- 2つの展示会を連続開催し、施工・運営コストを大幅に削減したシェアブース方式を採用することで、業界最安水準の出展料を実現



### M&A仲介事業

- 商談型展示会の開催を通じて得られた経営者層のデータベースを活用することで、高いマッチング精度を特徴とする介護・福祉業界のM&A仲介サービスを提供
- 1人のコンサルが、小規模案件を多数成約出来る仕組みを構築し、業界最安水準の手数料を実現

介護事業の運営・売却・事業承継のご相談はこちら	介護事業の運営・買取のご相談はこちら
無料前半査定	売却・譲渡案件一覧
買手検索サービス 既手検索企業 <b>6430</b> (件以上)	売却案件お知らせサービス <b>0145</b> (件以上)



## ◆ 業界に特化したBtoBのマッチングサービスを提供

当社が提供するサービス



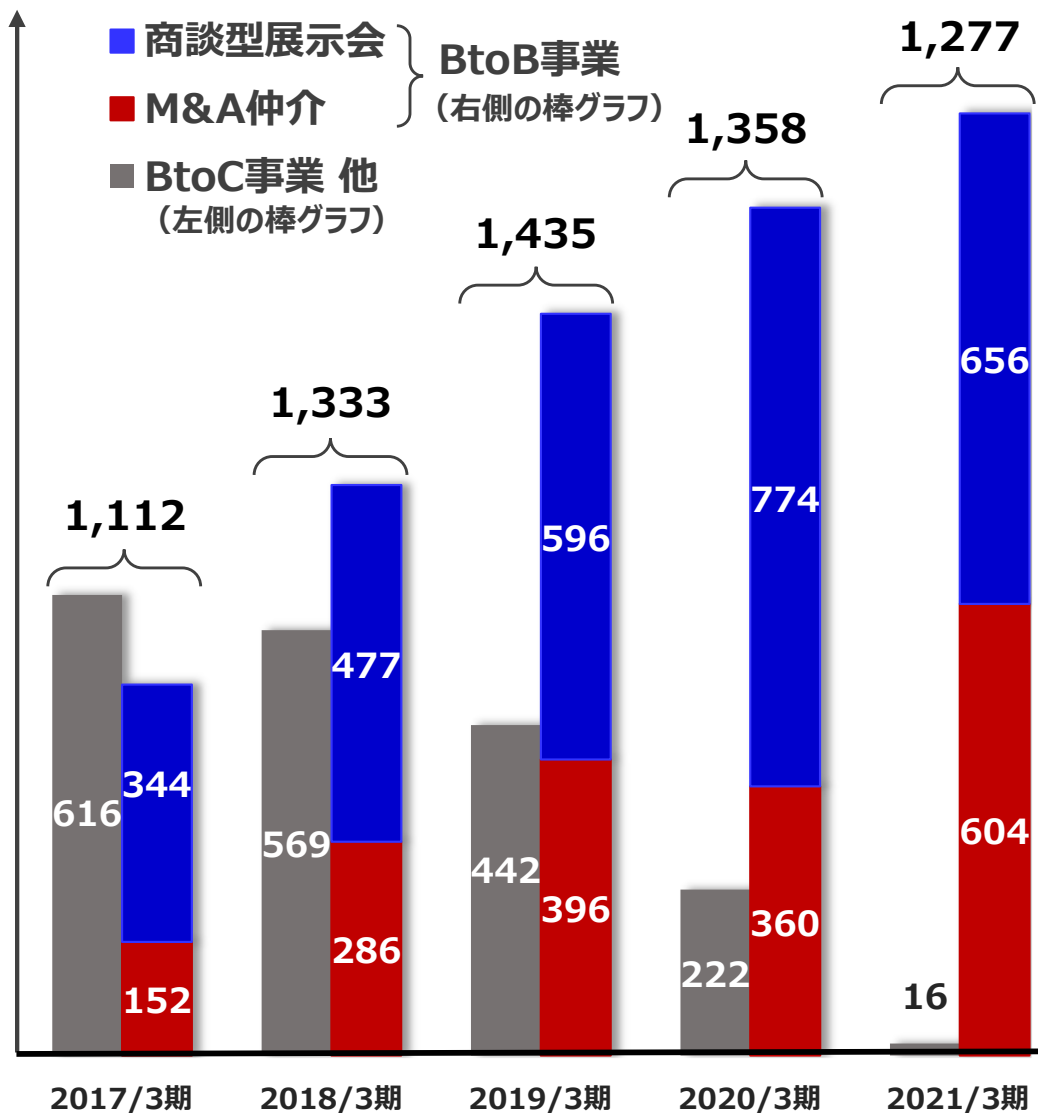


# 売上高・営業利益の推移

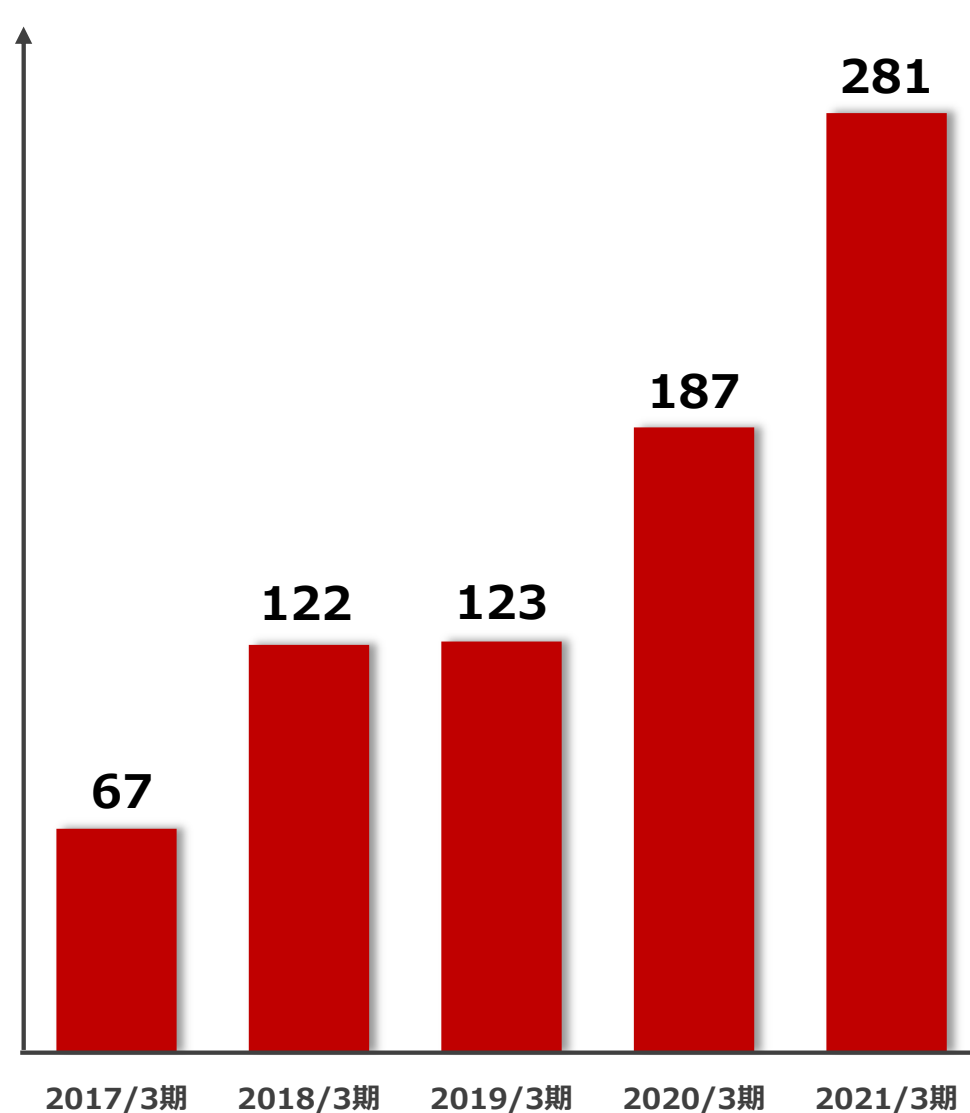


## ◆ BtoC事業からBtoB事業へシフトし、営業利益は5期連続増益

◆ 売上高 (百万円)



◆ 営業利益 (百万円)



# 商談型展示会事業 特徴と強み①



## ◆PR型展示会と異なり、決裁権限者同士の商談・マッチングの場

### 来場者

#### 介護施設・事業者 年間のべ 34,000名※

- **介護・高齢者施設**  
有料老人ホーム、グループホーム、特養、老健、サービス付高齢者向け住宅 等
- **在宅介護事業者**  
デイサービス、ショートステイ、訪問介護、訪問入浴、居宅介護支援事業所、介護タクシー、訪問看護 等
- **病院・リハビリ施設**  
病院・クリニック、リハビリ施設、大学・大学病院、高齢者医療施設 等
- **介護流通関係者**  
介護用品販売店、レンタル事業者、介護用品卸、レンタル卸 等
- **各種流通関係者**  
百貨店、スーパー、薬局、ホームセンター、量販店、通販会社 等
- **設計・施工会社、他**  
設計事務所、施工会社、ゼネコン 等

### 「CareTEX」により来場者・出展社をマッチング



「アポイント取得代行サービス」の提供等により、密度の濃い商談ができるようにマッチングのサポート

商談・取引交渉

受注・販売

新規取引先獲得

見積依頼の獲得

価格・納期交渉

OEMの商談

新規開業案件獲得

### 出展社

#### 各種サプライヤー 年間のべ 1,300社※

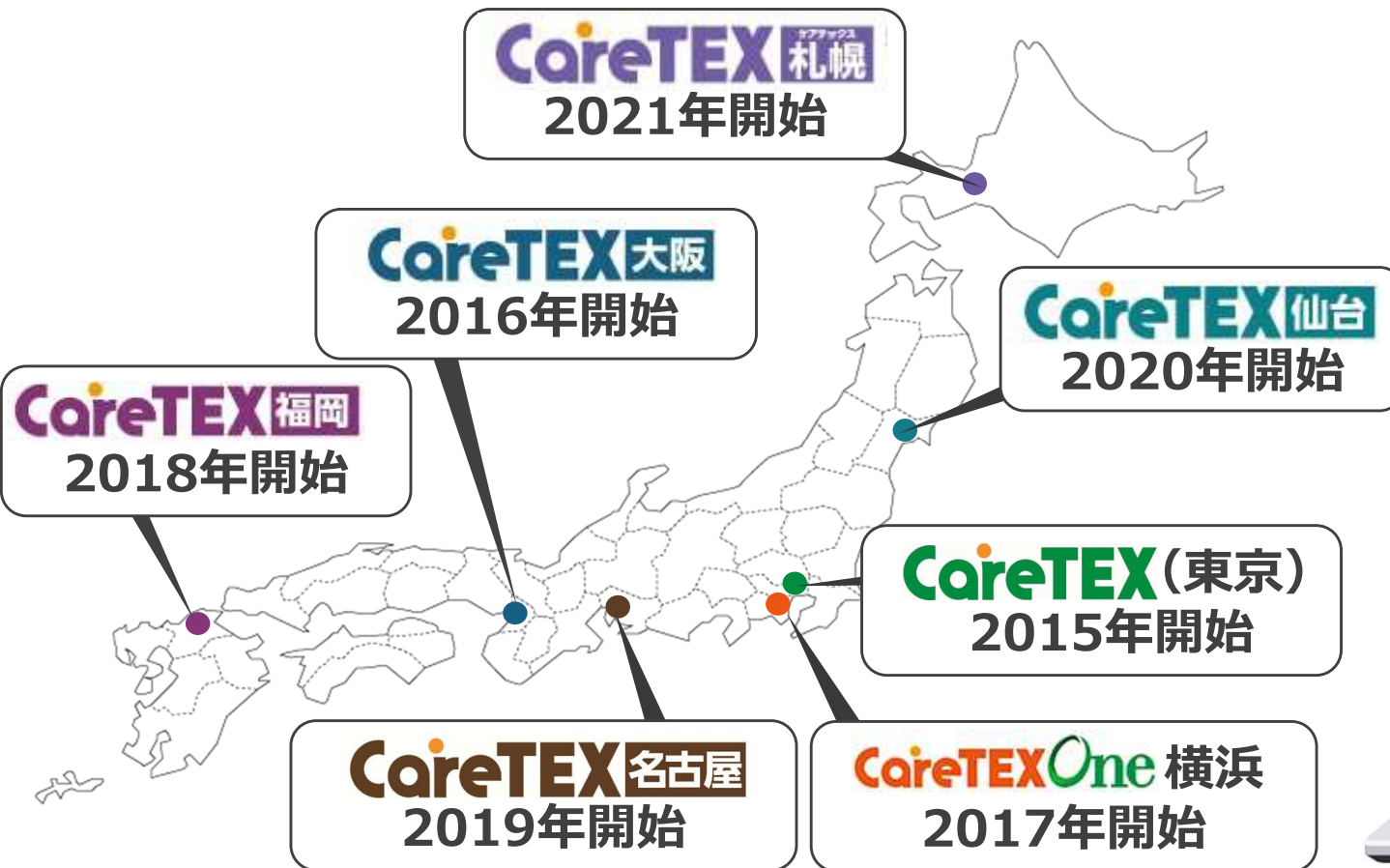
- **介護用品**  
歩行補助用品      ベッド用品  
入浴用品              トイレ・おむつ用品  
衣類・靴                住宅改修用品  
介護予防・リハビリ      生活支援用品  
介護ロボット 等
- **高齢者施設向け設備・備品**  
移動補助・福祉車両      入浴設備  
家具・建材・インテリア      洗濯・クリーン用品  
見守りシステム              介護システム  
厨房機器・食器              衛生用品  
介護職員向け用品 等
- **高齢者施設向けサービス**  
レクリエーション          感染予防  
省エネ・コスト削減          経営支援サービス  
配食・食事サービス          防災・危機管理  
スタッフ採用・教育          出張サービス 等



## ◆主力事業のCareTEXは、介護業界最大級の展示会に成長

- 全国7都道府県での開催により、全国に分散する事業者と、くまなくマッチング
- 2020年7月より、介護業界初のオンライン展を開催し、365日24時間マッチング

CareTEXシリーズの開催エリア



オンライン展  
2020年開始

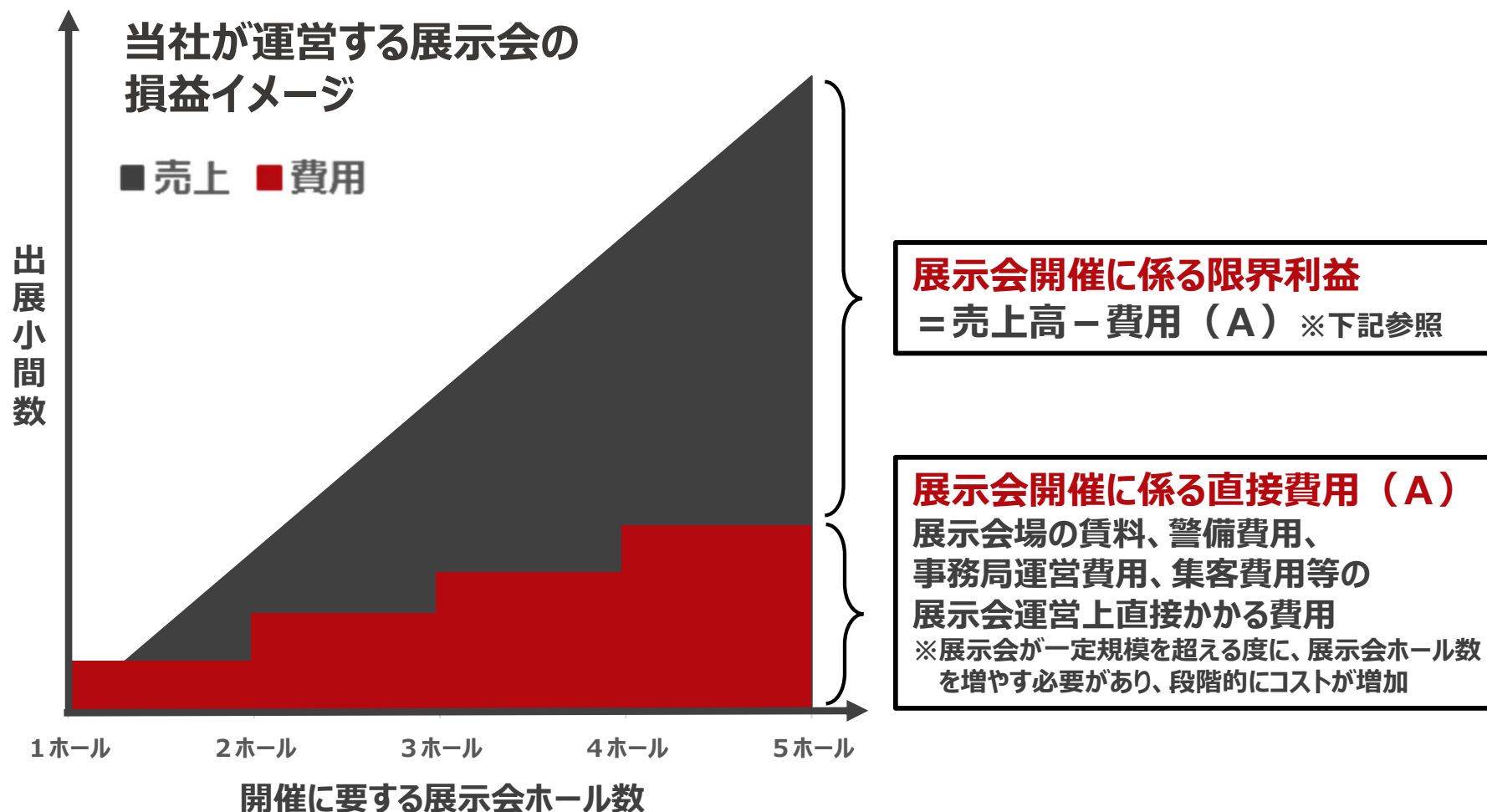
CareTEX 365 ONLINE





## ◆ 損益分岐点を超過すると、売上≧利益となり、**利益率が高い**

- 会場の賃料・集客費用等のコストは限定的で、損益分岐点が低く、**限界利益率が高い**
- 一過性のイベントと異なり、定期開催 = **ストック型**で、**安定的な収益**が得られるビジネス

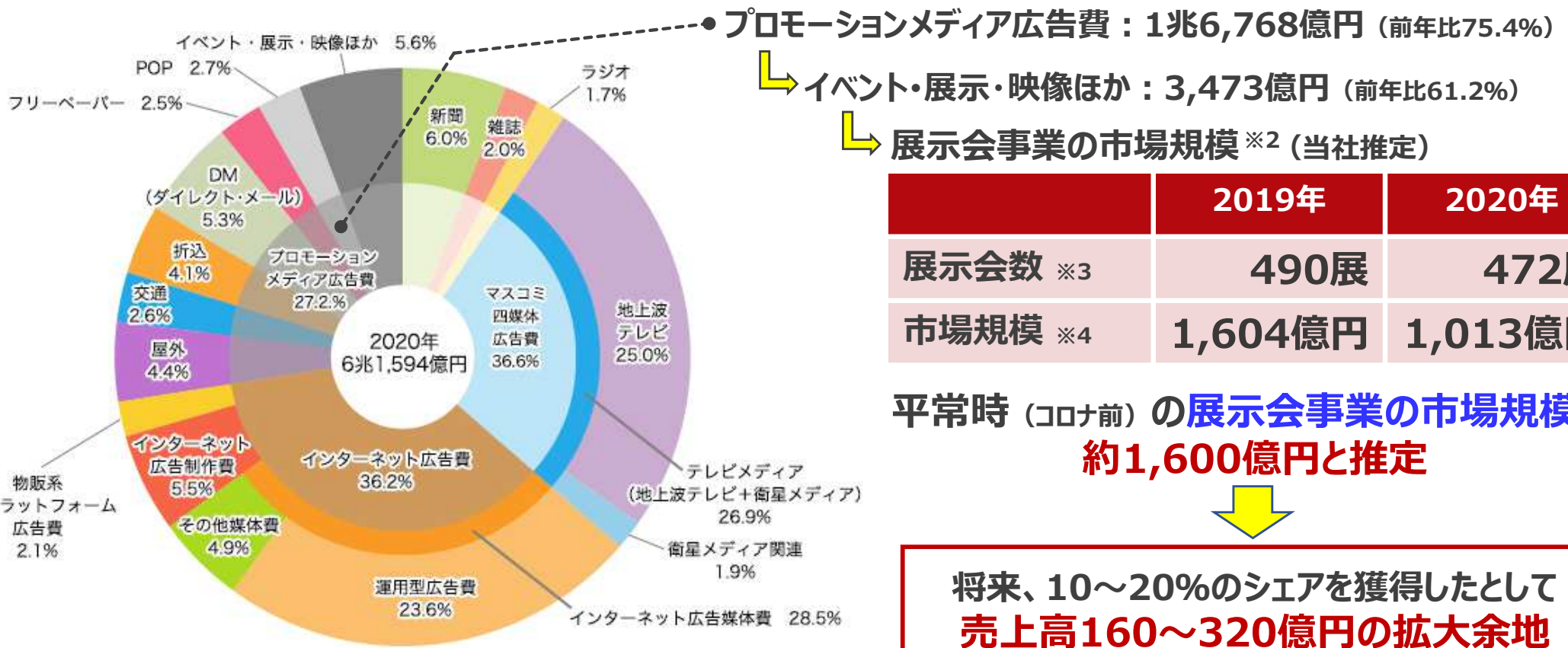


# 商談型展示会事業 当社のポジショニングと成長余地①



## ◆ 全業界での当社の展示会事業の**拡大余地**は、約**160～320億円**

2020年 日本の広告費の市場規模 ※1



	2019年	2020年
展示会数 ※3	490展	472展
市場規模 ※4	1,604億円	1,013億円

平常時 (コロナ前) の**展示会事業の市場規模**は約**1,600億円**と推定

将来、10～20%のシェアを獲得したとして  
**売上高160～320億円の拡大余地**

※1 (株)電通「2020年日本の広告費」より。 [https://www.dentsu.co.jp/knowledge/ad\\_cost/2020/media4.html](https://www.dentsu.co.jp/knowledge/ad_cost/2020/media4.html)  
 ※2 出展小間料や入場料を主な収入とする展示会主催者の市場規模。  
 ※3 「見本市展示会総合ハンドブック」((株)ビーオーピー)の2019年度版・2020年度版より、開催展示会数(同時開催の構成展示会を除く)を当社にて集計。なお、2020年は新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止となった展示会も一定数ありますが、中止した展示会の数を正確に把握することが困難なため、展示会数には中止した展示会の数も含まれます。  
 ※4 東京商工リサーチ等に展示会事業の売上高を公表している主催者のうち、開催展示会数上位10社及び当社の売上高の合計額を、当該主催者の開催展示会数の合計数で割って1展当たりの平均売上高(以下「平均売上高」といいます)を算出し、これに年間の開催展示会数(上記※3参照)を乗じた金額を市場規模として推定。  
 上記にて平均売上高を算出する際、開催展示会数上位の主催者を対象としていることから、その対象は主に私企業主催者となっています。このため、平均売上高算出の際に、業界団体等が主催する展示会は含まれておらず、これらの展示会を含めた際には、平均売上高の金額が増減する可能性があり、この場合、全体の市場規模の推定値が増減する可能性があります。

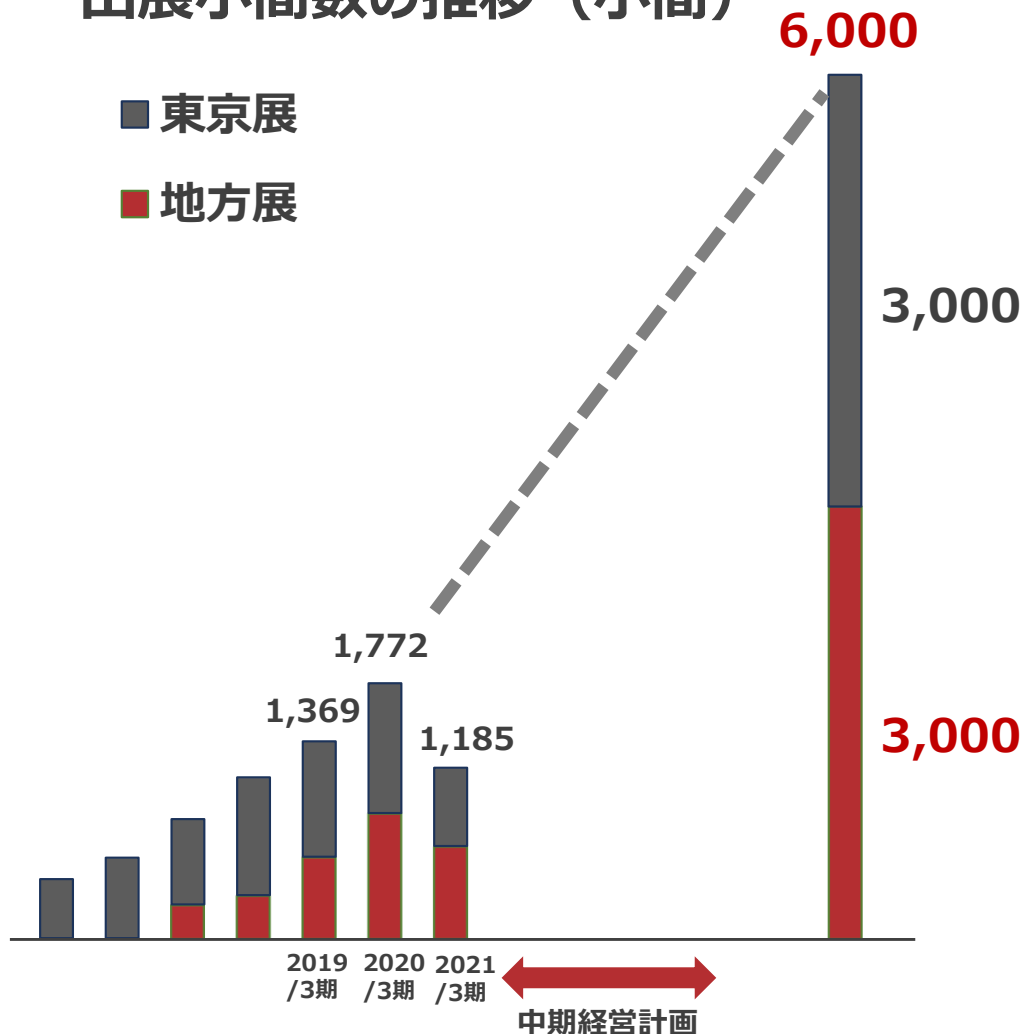
# 商談型展示会事業 当社のポジショニングと成長余地②



◆ 介護業界での当社の展示会事業の**拡大余地は、約25億円** 20/3期売上  
の約3.3倍\*

※平常時（コロナ前）である20/3期の売上をもとに算定

## 出展小間数の推移（小間）



## 介護業界における展示会事業の拡大余地

**東京展：3,000小間**

既存展拡大 902小間 → 1,500小間  
別の時期に開催 1,500小間

**地方展：3,000小間**

既存展+開催地拡大 870小間 → 1,500小間  
別の時期に開催 1,500小間

**合計：6,000小間 ⇒ 売上：約25億円**

※売上高 = 出展小間数 × 小間単価  
小間単価は大きく変動しないので出展小間数が重要指標

**展示会の立上げノウハウを活かし、  
早期に、他の業界でも展示会を立上げ**

# M&A仲介事業 特徴と強み①



## ◆ 介護・福祉業界特化&6,500社の買い手保有で**成約スピードが早い**

- 介護・福祉業界特化で買い手DBを早期に蓄積、**買い手候補の探索が早い**
- 業界での成約実績が豊富で、業界特有のニーズを熟知しているため、**マッチング精度が高い**

買い手DB  
業界最大級<sup>※1</sup>

案件成約実績  
業界最大級<sup>※1</sup>

成約までの  
平均期間

6,500社

M&A 実績

623件<sup>※2</sup>

M&A 実績

4.9ヵ月<sup>※3</sup>

M&A 実績

※1 介護・福祉業界における比較（当社調べ）

※2 当社におけるM&A仲介事業開始以来の累積成約実績件数（売り案件・買い案件をそれぞれ1件としてカウントした合計数）

※3 当社における2021年3月期実績（案件化してから1年以内に成約した案件の平均期間。左記に該当する案件は年間成約件数の約9割を占めます）



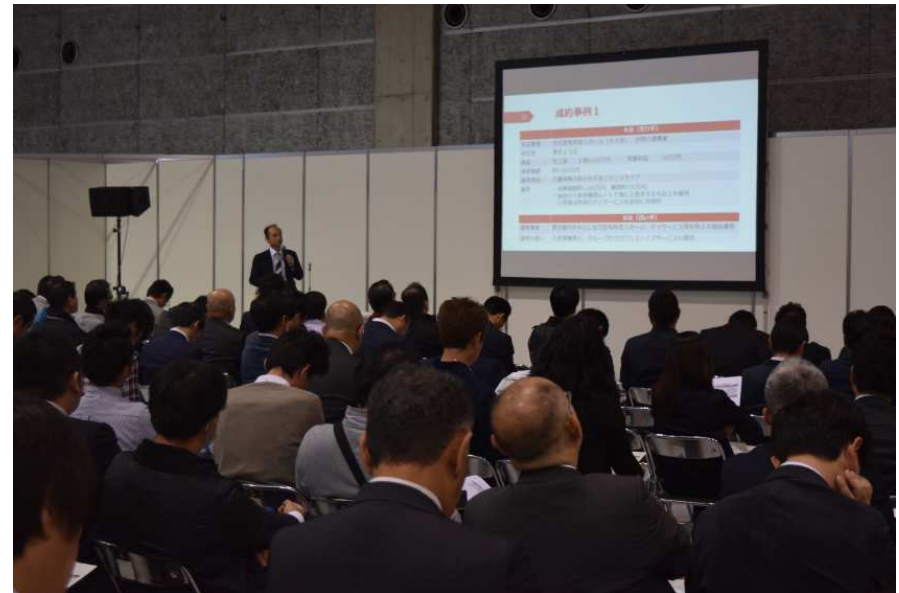
## ◆当社主催の商談型展示会を活用した**効率的な案件開拓**

- 介護業界最大級のCareTEXでの出展・講演等により、売り手・買い手を**通年で開拓**
- 東京・大阪・名古屋・福岡・仙台・札幌等での展示会出展により、**全国のM&A案件を開拓**

### ◆CareTEX（当社主催）にブース出展



### ◆CareTEXセミナーでM&Aの講演







## ◆“回転寿司モデル”で、**業界最安水準\***の手数料 ※最低100万円から

- 1人のコンサルタントが、小規模案件を多数成約できる仕組み構築
  - M&A未経験者でも、早期に育成・戦力化できるため、大量採用が可能
- 安価な手数料を実現

新規採用したコンサルタントが売上に  
寄与するまでの想定期間：**約8カ月**

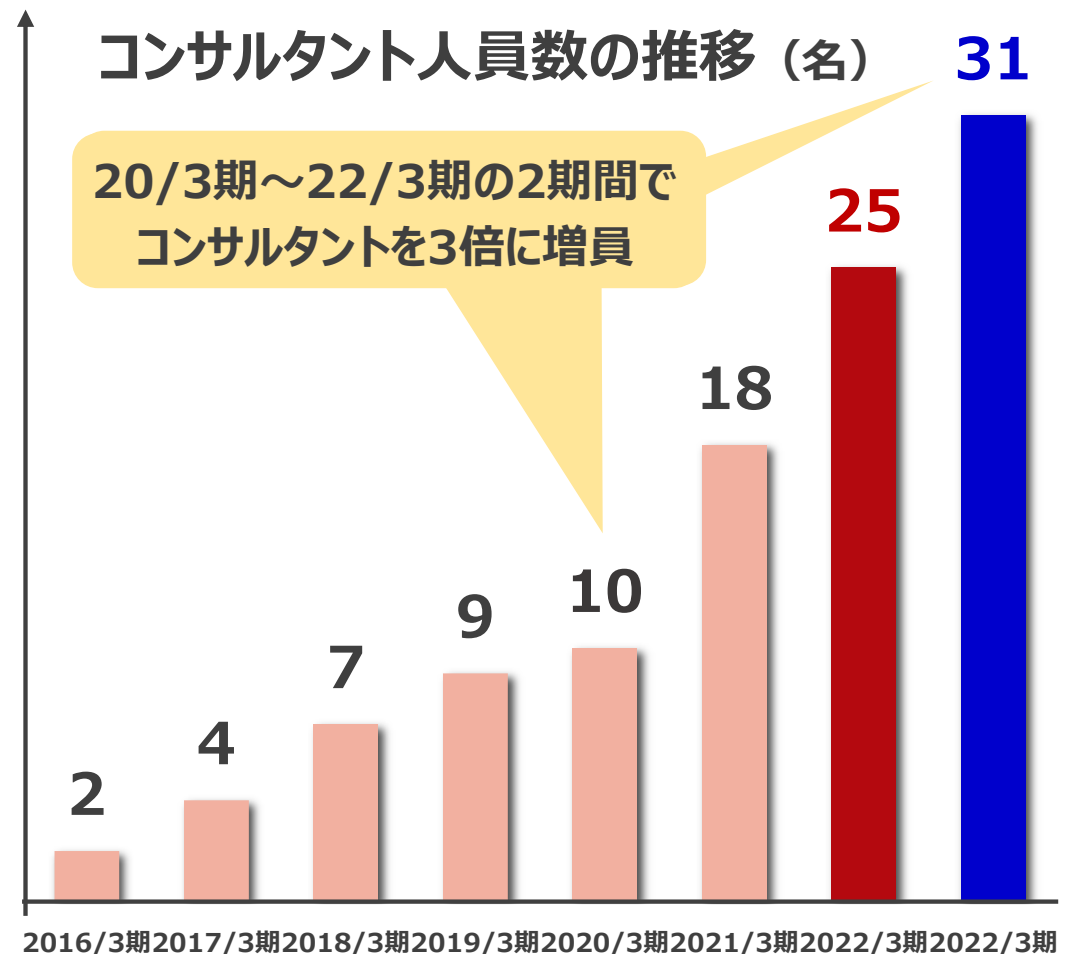
### 入社～戦力化までのモデル期間

- 入社～2カ月：教育研修期間
- 入社2カ月後：最初の案件担当  
(案件成約まで6カ月を想定)
- 入社8カ月後：初の案件成約  
以降、本格的に戦力化し、売上に寄与

### M&Aの“回転寿司モデル”とは

M&A仲介業者の多くは、譲渡対価数億円～数十億円規模の大型案件を高額な給与のM&Aコンサルタントが成約する、いわゆる「銀座の高級寿司モデル」が主流です。当社では、M&A未経験者であっても早期に教育することで、譲渡対価が数百万円～1億円程度の中小型案件を、効率よく成約する「回転寿司モデル」を採用。業界最安水準の手数料体系を実現しています。

### コンサルタント人員数の推移 (名)



(11月時点) (見込)

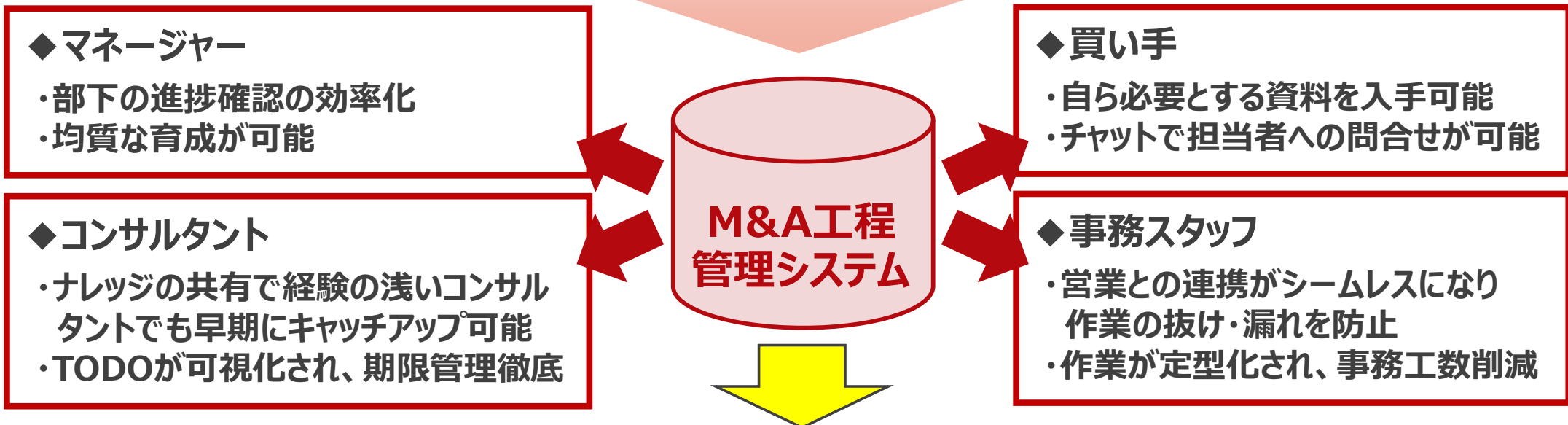


## ◆“回転寿司モデル”を実現するM&A工程管理システム（自社開発）

- M&Aの工程を20以上のプロセスに分解し、厳格な工程管理を実施
- 個人の経験等に頼りがちな工程を定型化・可視化することで、コンサルタントの大量採用時にも案件進捗の確実性とスピードを担保



### 案件毎の工程管理を一元化・定型化

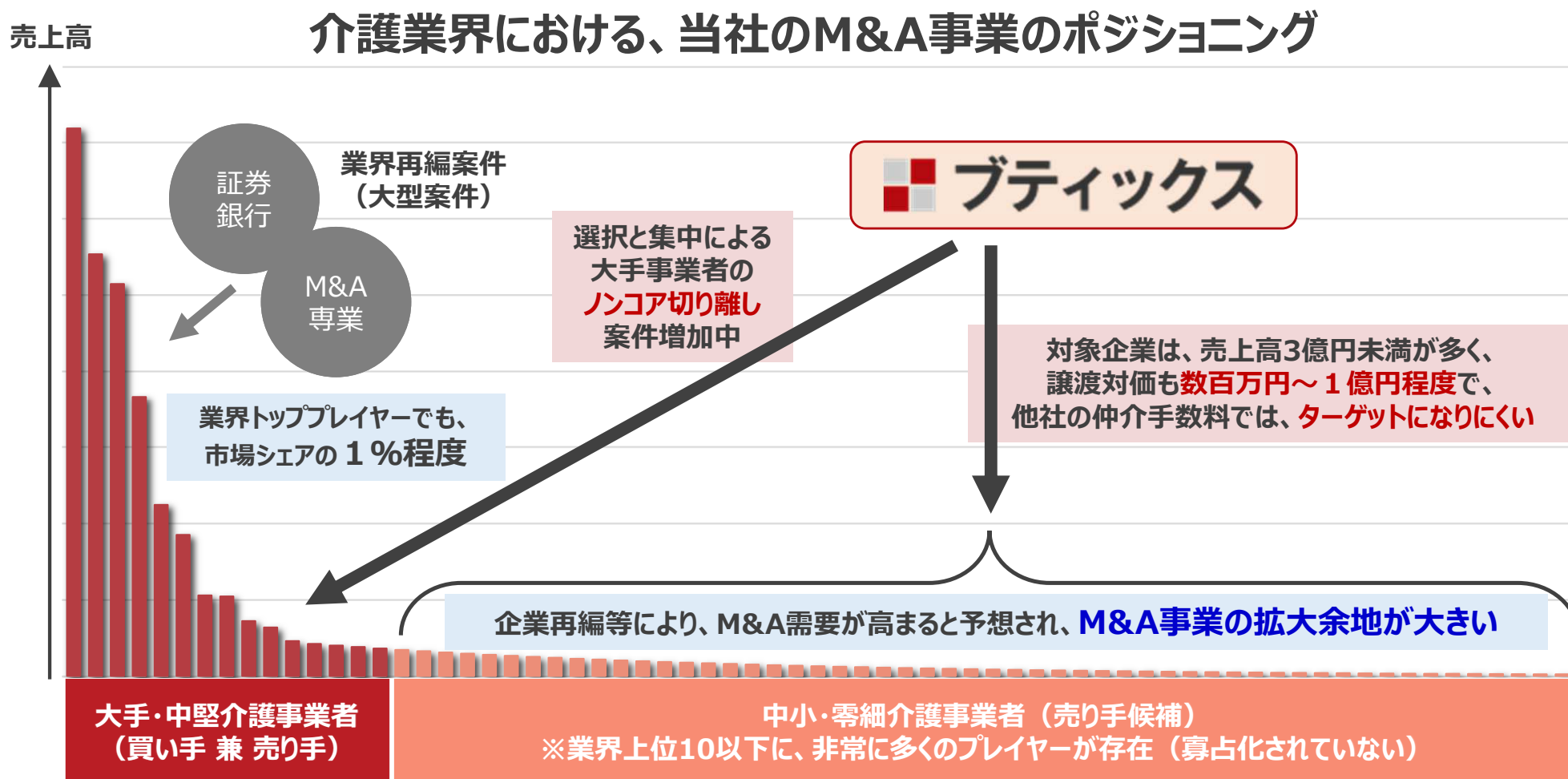


## 成約期間が短縮



## ◆ 競合が少ない中小型案件を対象とした**独自のポジショニング**

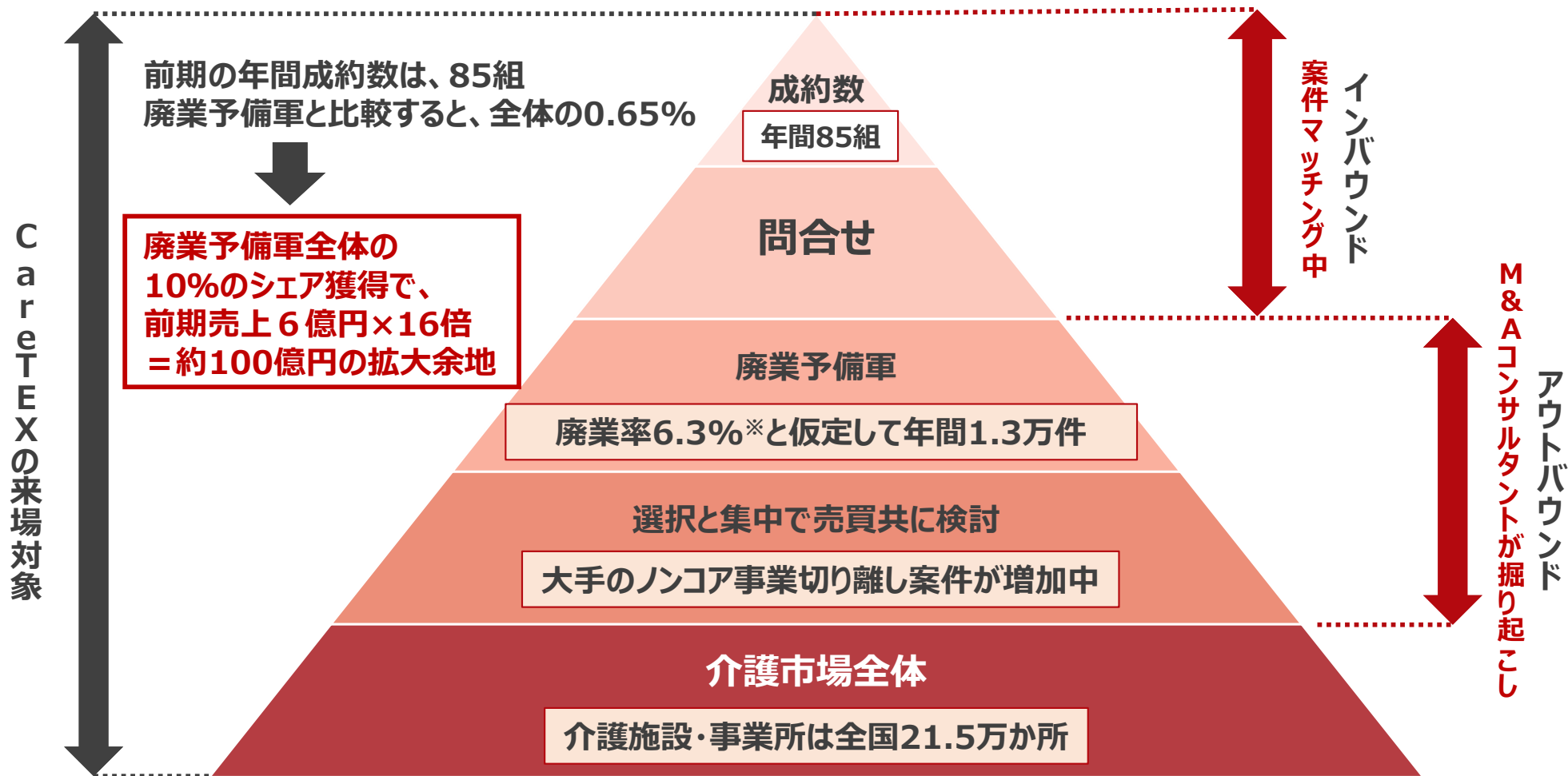
- 大手・中堅事業者は新設・買収で規模の利益を追求し、中小・零細企業は廃業する二極化に
- 当社は、証券会社・銀行・M&A専門がターゲットとしづらい中小型案件がメイン・ターゲット



# M&A仲介事業 当社のポジショニングと成長余地②



◆ 介護業界での当社のM&A事業の**拡大余地**は、約**100億円** (21/3期売上)の約16倍

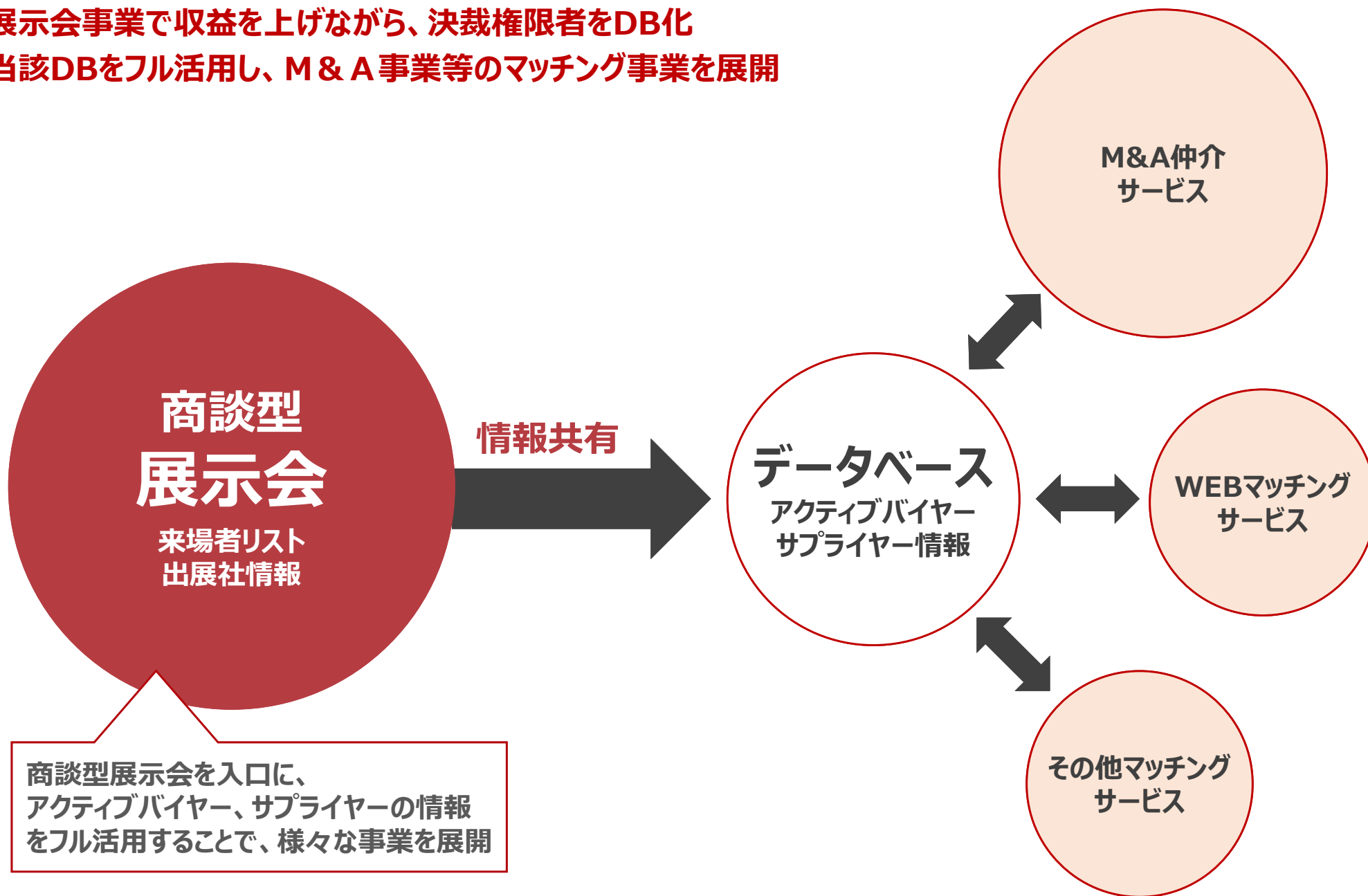


※：出所 東京都福祉保健局「平成28年度 事業所指定件数及び事業別・法人別事業所数」「事業所指定件数及び事業別・法人別事業所数（平成29年度）」より、2016年4月1日時点の居宅介護支援、居宅サービス事業者数12,315件、2016年度の年間廃止等数780件より算出

# 商談型展示会を入口に、マッチング事業を展開



- ◆ 展示会事業で収益を上げながら、決裁権限者をDB化
- ◆ 当該DBをフル活用し、M&A事業等のマッチング事業を展開



商談型展示会を入口に、  
アクティブバイヤー、サプライヤーの情報  
をフル活用することで、様々な事業を展開

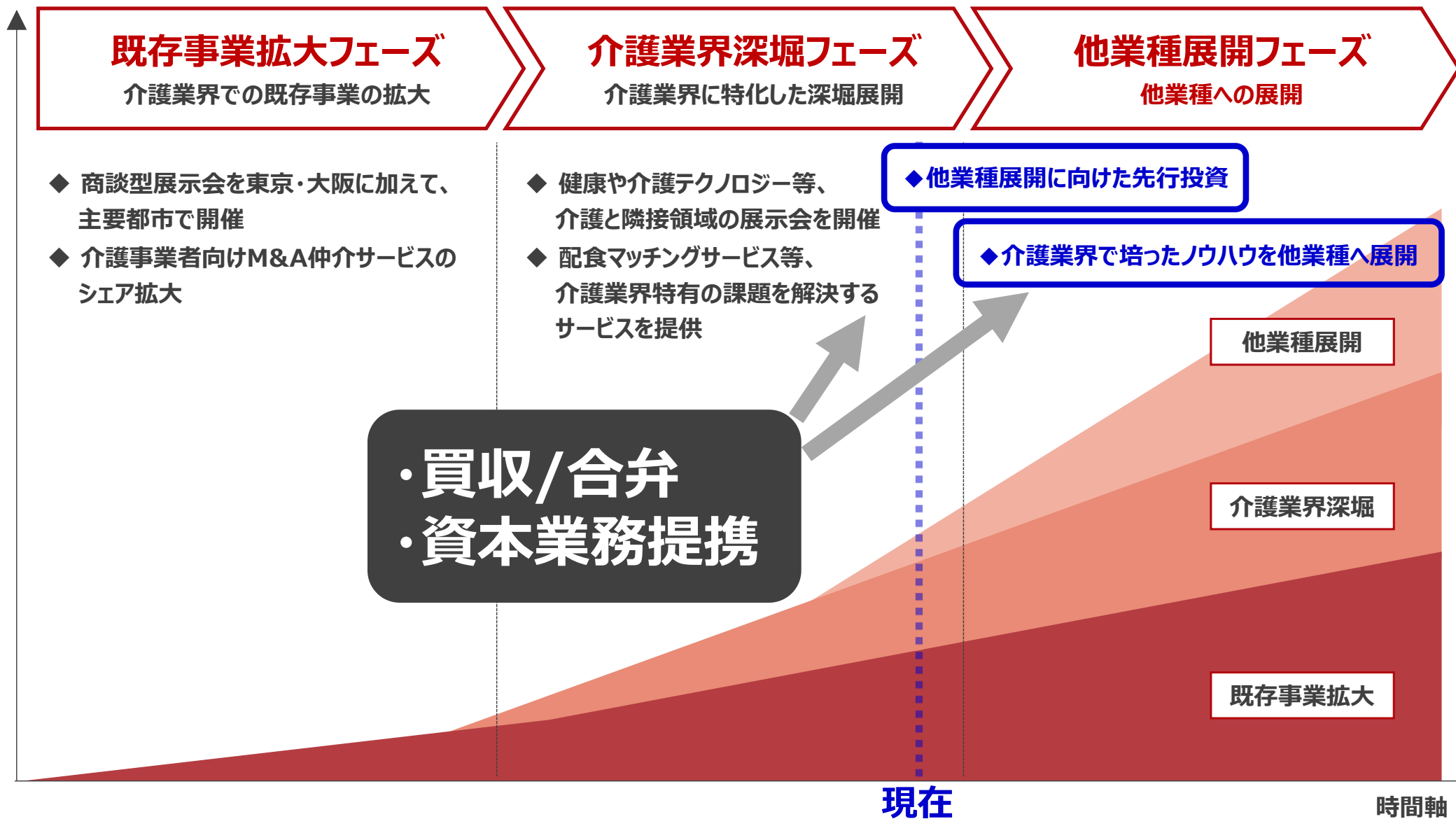
※商談型展示会には、オンライン展示会を含みます。

# 中長期成長イメージ



- ◆ 既存事業の大きな伸びしろを確実に取り込む
- ◆ 並行して、早期に他業種への横展開を図る

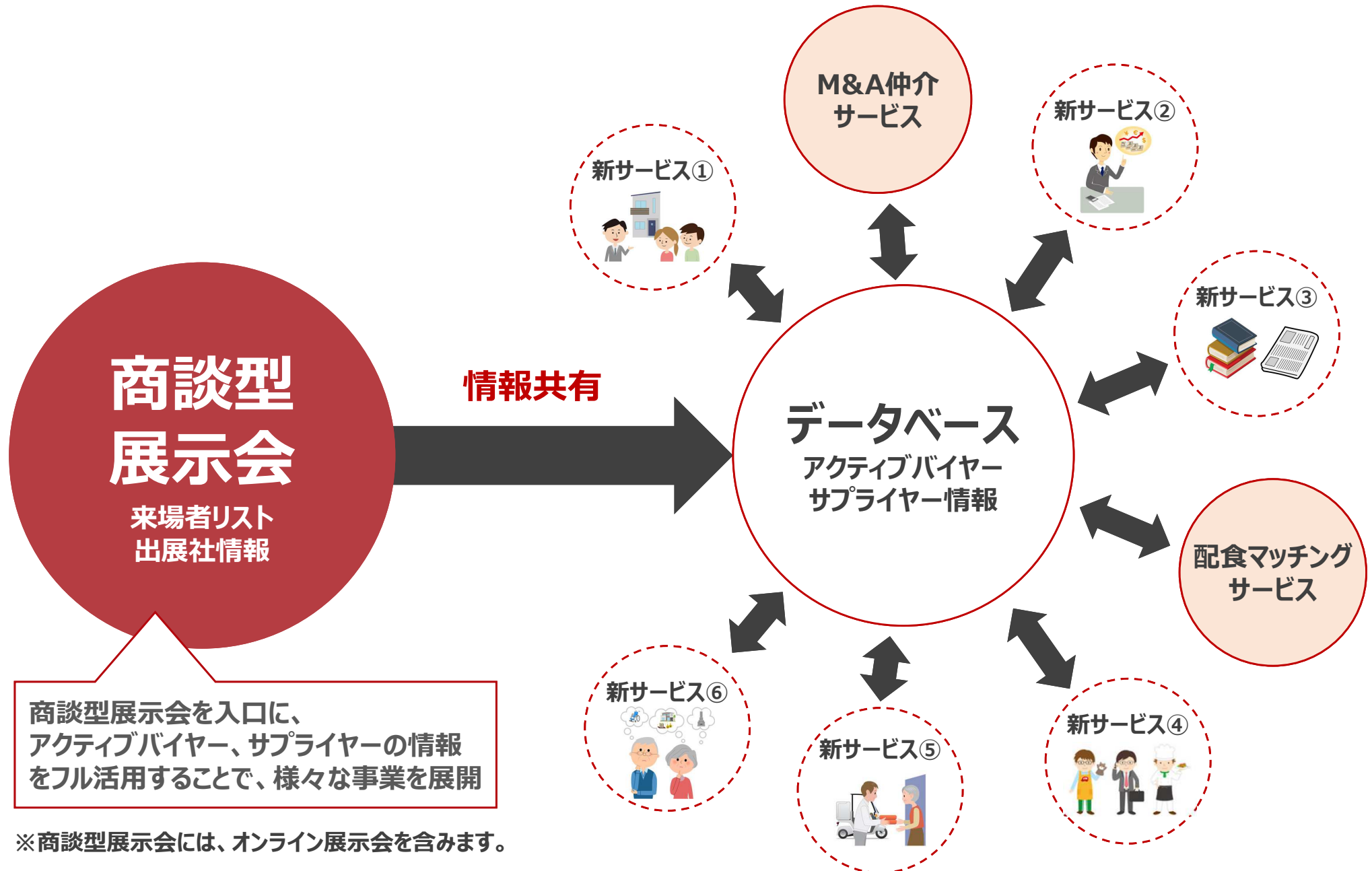
事業規模 ◆ : 現在進行中 ◆ : 今後展開予定



# 介護業界に特化した深堀展開（従来）



◆課題解決のための新サービスを、自社サービスとして事業化・提供していくことで、事業の拡大を図る



商談型展示会を入口に、  
アクティブバイヤー、サプライヤーの情報  
をフル活用することで、様々な事業を展開

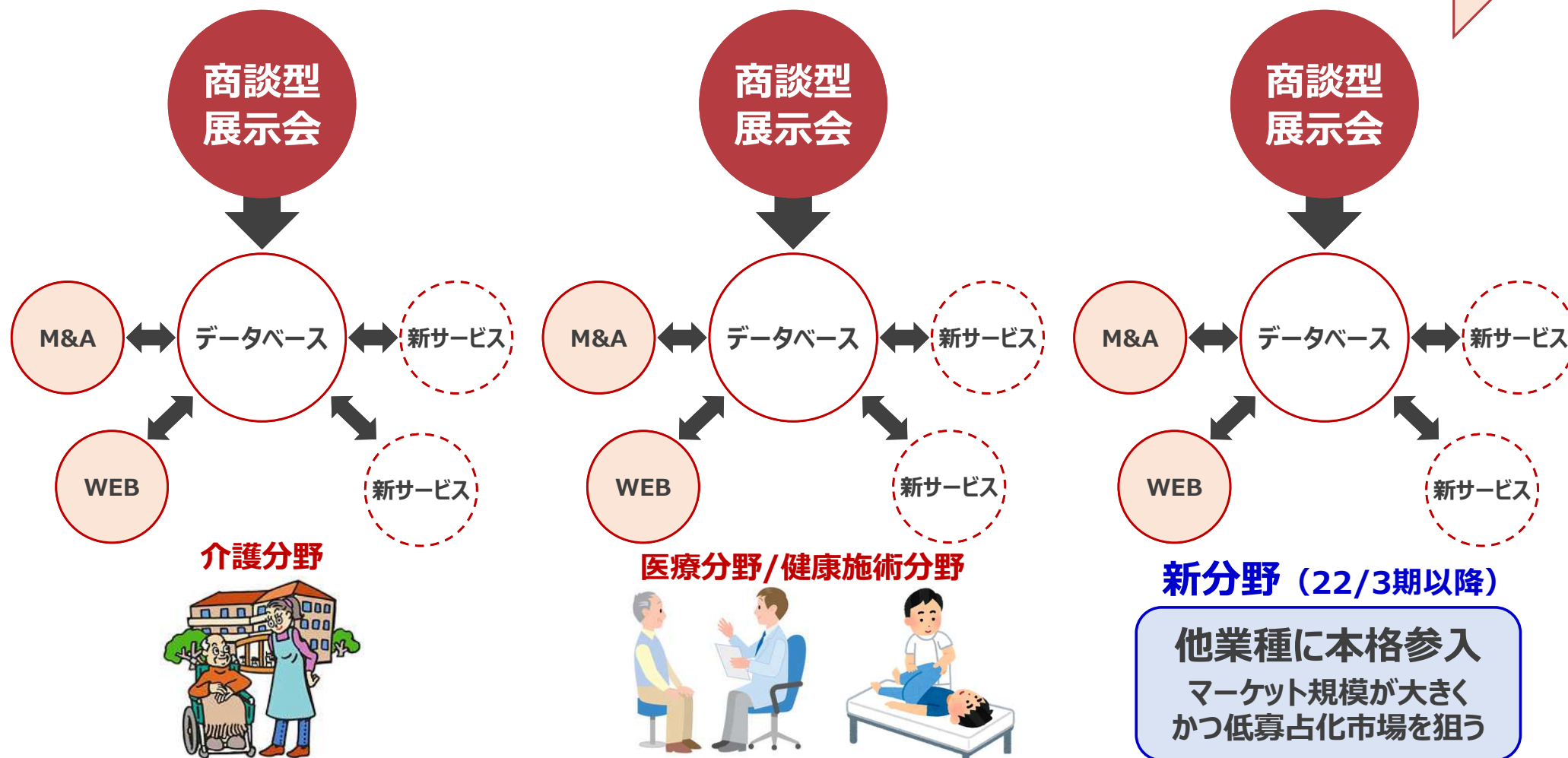
※商談型展示会には、オンライン展示会を含みます。

# 他業種への展開 (2022年3月期以降)



- ◆低寡占市場においては、介護業界と同様に、様々なマッチング・ニーズが強い
- ◆商談型展示会を入口として、マッチング・プラットフォームを横展開 ※商談型展示会には、オンライン展示会を含みます。

商談型展示会を入口に、業種を横展開







本資料に記載されたすべての意見や予測、見通しなどは資料作成時点における入手可能な情報に基づいた当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性がありますことをご承知おきください。

なお、今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料において提供される情報を更新・修正する義務を負うものではありません。

## 【本件に関するお問合せ】

ブティックス株式会社 管理本部 IR担当

電話：03-6303-9431（平日9時～18時）

Email：ir@btix.jp